

自分の健康、みんなの健康を共に考える市民情報誌

ほほえみがえし

Vol. **13**
2010 Summer
川崎市医師会



特集対談 TALK&TALK

川崎市長

川崎市医師会会長

阿部孝夫 × 高橋章

川崎市長
阿部孝夫

川崎市医師会会長
高橋章

●医療最前線
子宮頸がんワクチン

●健康ワンポイント
老人性眼瞼下垂

●おしえて、せんせい／Q&A
最近、ものを
忘れることが多くて
心配なのですが

Free

ご自由にお持ちください



高橋 章

川崎市医師会会長



阿部 孝夫

川崎市市長

昨年秋の市長選で見事三選目を果たされた阿部孝夫川崎市市長と、就任1年を経過した高橋章川崎市医師会会長。それぞれが考える川崎市の医療、健康、福祉、教育等についての現状と今後の展望を語っていただきました。

新型インフルエンザで学んだ危機管理 市と医師会の協力が不可欠

会長：本日は、公務でお忙しいところお時間をいただき、ありがとうございます。

昨年秋に三選目を果たされ、重点施策として「大切な命を尊び育む」ための「人間都市かわさき」を打ち出された市長さんの見識の高さには目ごころから敬意を表しております。

この「人間都市かわさき」の中で市長さんが一層力を入れていきたいとおっしゃる「医療、福祉、子育て、教育」について、まずお話しをうかがえますか。

市長：ありがとうございます。私が掲げる行政施策の目的は「誰もがいきいきと心豊かに暮らせるまちづくり」で、その実現のためにこれまでも取り組んできましたが、大きな課題があります。そこで昨年選挙公約として「川崎再生から新たな飛躍へ」ということで5つの方向性を打ち出して、一般的な医療サービスから救急医療の拡充、人口増加にもなう保育所の確保や特別養護老人ホームの確保、発達障がい児対策、児童虐待防止や教育まで含めて、人間に関わることを重点的に強化していく必要があるとして、取り組んでいます。しかし、まだまだ課題があり

ます。とくに昨年の新型インフルエンザ対策は、市民の安全を守るための医療と危機管理という点で非常に重要でした。

会長：私も昨年4月に会長に就任し、早々に新型インフルエンザに遭遇して会長の手腕を試されることになりました。しかし、市長さんやまわりの皆さんのご協力で、他の都市にはない取り組みができたのではないかと考えています。そのひとつが市長さんと交わした「覚書」ですね。医療関係5団体と川崎市とが市民のために団結して対応しようという覚書を交わしたというのは、他の都市になかったことだと思います。

市長：そうですね。関東では川崎市に關係した新型インフルエンザウイルスの陽性患者が最初に発見されたのですが、川崎市の対応というのは、多方面で高く評価していただきました。とくに陽性患者の早期探知や発熱外来相談といった初期の段階で、医師会をはじめとする皆さんにご協力いただいたのが大きかったと思っています。

会長：医師会としては、A型インフルエンザの発生动向調査を川崎市の全医療機関に対して行ったり、限りあるPCR法（※1）をうまく使おうとか、休日診療所の予備当番医を出動させたといういろいろな取り組みをやってみました。

市長：医師会の皆さんにご協力いた



高橋 章 川崎市医師会会長

うのも、平時に構築しておかなければならないと思うのですが。

市長：実際に、医師の中にも患者さんが出ることがあるわけですから、リスクを背負って対応する方に対するシステムはきちんと作っておかなければならないと思います。感染症をとまなう危機管理については、まだ検討しなければいけないことがたくさんありますから、これからもご協力をお願いします。

まずは周産期救急医療をモデルケースに、一般救急医療のシステム構築を

会長：川崎市の救急車の待機時間、救急医療のシステムについても、危機管理という観点から考えて、再構築する時期ではないかと思うのですが、いかがですか。

市長：たしかに救急医療の問題は大きな課題になっています。救急対応できる病院、医療機関を増やすことが必要だと考えています。

ひとつのモデルケースとなるのが、総合周産期医療体制の強化です。聖マリアンナ医科大学病院に「総合周産期母子医療センター」ができ、市立川崎病院と日本医科大学武蔵小杉病院が地域周産期母子医療センターに指定されました。いざというときに受け入れてくれるところが明確になってくると、産婦人科をもっている一般の病院や開

業医も患者さんを受け入れやすくなります。そうすると、助産師さんも契約医として確保できるお医者さんが多くなってくる。このような体系づくりができるようになります。

いざというときに母子を受け入れてくれるNICU（新生児集中治療室）※2が増えてきたということ、出産関係の救急搬送に関しては明らかに効果が出ています。

一般の救急医療体制についても、このように強化していく必要があると思っています。現在、新百合ヶ丘に産科小児科、救急医療がセットになった新しい総合病院の開設が進められていますし、市立井田病院でも救急医療を受けられるようになります。対応医療機関や病床数も増えてくるので、全体的



阿部 孝夫 川崎市市長

いて、かかりつけ医を持っていない方に対しても対応していただけたことも、大きかったと思います。流行中に休日診療所をのぞいてみたら、患者さんが列を作っていることに驚き、急遽、当番医を増やして対応していただいたのですが、こういった臨機応変な対応が重要であったと思っています。

最終的にはワクチンの準備までご協力いただきました。今後も、今回のことを踏まえてきちんと対応していくことで、患者の発生、また重症患者の発生をできるだけ少なくすることができると思います。

会長：一方で、こういった発熱外来などの危機管理について、協力、参加してくれる人への保障を含めた対応とい



受け入れた件数に応じた助成制度も、現在検討している最中です。

日ごろから かかりつけ医を 持つことが大切

会長：川崎市は南北に長い市で、北部に夜間急病センターがあり、南部に市立川崎病院があります。市民は中部の夜間急病センターも希望していると思うのですが。

市長：たしかに中部に夜間急病センターがあればというのは以前から懸案になっていますが、需要状況を分析しなければならぬと思っています。例えば、軽い症状であっても、日中勤めているので夜、急病センターを受診してしまう方が増えているのも確かなのです。いくら体制を整えても、夜間の急病センターの受診に集中してしまうと、足りません。市民の皆様の理解も重要なと思っています。

会長：そうですね。夜間も診てくれる急病センターやすぐに来てくれる救急車はたしかに心強い存在ですが、それがいわゆるコンビニ受診につながるようではいけませんね。

じつは先日、私の家の近所で朝の6時から11時に救急車を呼ばれた方がいらっやいました。でも、救急車が受けるの優秀な看護師を確保できるか考えていきたいと思っています。

会長：よろしくお願ひします。それから、教育問題の中でも、現在は虐待が大きな問題になっていますし、各保育園での発達障がい児対策等も課題がありますね。

市長：昔は、発達障がいを持つお子さんたちは施設に入れて育てることが普通でした。しかし、現在は一般の保育所や幼稚園の中で、他の子どもたちと一緒に育つことが重要といわれていますね。ノーマライゼーション（※5）の考えで、障がいを持つ子どもも一般の教室に入ることができ、自信をもって社会に慣れていくことができます。同時に、一般の子どもたちが障がいを持つ友達を受け入れて、対応のしかたを覚えることで人間が助け合って生きていくことの大切さを、教育の現場で知ってもらう目的もあります。人と協調していかないと生きてはいけないということ、実感してもらおう必要があると思うのです。

会長：我々医師会も、本業である診療はもちろんですが、川崎市民のために何かボランティアができないかと考え、多摩川をきれいにする運動なども考えています。なるべく市民のためになるように動かなければならないなと思っっているつもりです。

け入れ先を探している間に、横になっていたら少し楽になった、大丈夫そうだからと救急車には帰っていた。だからと救急車には帰っていた。私のクリニックで点滴を受けて改善した、という方がいらっやいました。症状の軽い、重いというのはなかなか自分では判断できないものですが、あわてて救急車を呼んでしまうこともあると思いますが、まずはすぐに相談できるかかりつけ医を持つておくということが大切ですね。

では、接種費用の一部助成などが始まっているようですが、川崎市はいかがですか。

市長：どのような体系を作ったらいかと検討を重ねている段階です。川崎市は人口が多い分、財政の規模も大きいのですが、出て行くお金も大きいものですから…（笑）。対応していかねばならないことはわかっていますが、あれもこれもとはいかないので、選択が難しいのです。

会長：人口141万人の政令指定都市の市長さんですから、全体を見なければならぬのは大変だと思いますが、ぜひご検討ください。

助け合い、 よりよい川崎市への 発展につなげる

会長：最近では、子宮頸がんを引き起こす原因となるウイルス感染を予防する「HPVワクチン」（本誌P5参照）や、細菌が引き起こす髄膜炎を予防する「Hibワクチン」（※4）といったものが登場してきています。郡市によっ

ては、協力をお願いしたい点があるのですが。今、ほとんどの医療機関でIT化が進んできています。昔はレントゲンを撮るとフィルムで見えていたのが、今はコンピュータ処理のフィルムレスの時代になっています。また、胃の検査もバリウムを飲む検査よりは胃カメラで検査を行っています。今後は、肺がん検診、胃がん検診にもフィルムレスでの対応や、胃カメラの導入もしていければと思っています。

市長：旧来のやり方をやっている人が優先で、新しい時代の流れにのった人が排除されるというのはよくないわけですから、新しい時代の流れに沿うようなものを取り入れていくことが必要だと思っています。全体的にコンピュータ

ぜび、これから市と医師会と連携し、よりよい川崎市づくりを進めていきたいと思っています。

市長：こちらこそ、これからもどうぞよろしくお願ひします。

会長：本日はお忙しい中、本当にありがとうございました。

※1 PCR法：ウイルスの遺伝子を増殖させ、感染の有無を確認する遺伝子検査。新型インフルエンザウイルスの場合、感染が疑われる患者さんの分泌物（鼻水やのどの粘膜など）を採取し、そこに新型インフルエンザウイルスと同様の遺伝子を持つウイルスが含まれているかで、感染の有無を確認する。

※2 NICU（新生児集中治療室）：低体重児や早産児、何らかの疾患を持つ新生児を集中的に治療するための病院内部門。

※3 GCU（発育支援室）：NICUで治療を受け状態が落ち着いた新生児を、引き続き治療、管理するための病院内部門。

※4 Hibワクチン：細菌の一種であるインフルエンザ菌によって引き起こされる、髄膜炎などの感染症を予防するためのワクチン。

※5 ノーマライゼーション：障がいのある人や高齢者などが、



医療最前線

子宮頸がんを予防する HPVワクチンをご存じですか？

女性がかかるがん（いわゆる婦人がん）の中で、乳がんに次いで多いのが「子宮頸がん」です。子宮頸部におこるがんで、日本では年間約8,000人がかかり、約2,400人が亡くなっています。

原因はヒト・パピローマウイルス

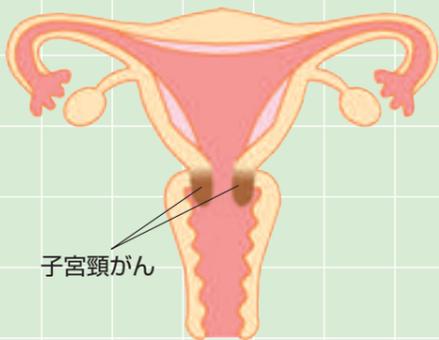
最近、子宮頸がんの原因は「ヒト・パピローマウイルス（以下HPVと略します）」の子宮頸部への持続的な感染であることが判明しました。HPVは、皮膚や粘膜に普通に存在しているウイルスで、子宮頸部に感染してもほとんど自然に排泄されますが、ごく一部のHPVの持続的な感染によって、感染後十数年以内に子宮頸がんが発症する危険があります。

子宮頸がんは 予防できるがんです

しかし、原因がわかれば予防が可能になります。HPV感染を予防するための「HPVワクチン」がすでに開発され、利用できるようになりました。子宮頸がんは、予防できる数少ないがんとなったのです。

HPVはおもに性交渉によって感染するとされています。HPVワクチンの予防効果がもっとも高いのは、HPVに感染していない10代の女性と考えられています。新たな感染予防の観点から見れば、性交渉の可能性のあるすべての女性が接種対象といえるでしょう。ちなみに、11歳の女子全員にHPVワクチンを打つことができれば、将来70%の子宮頸がんを予防できると考えられています。

欧米では、すでに公費負担による接種が始まっていますが、残念ながら日本ではまだ十分な補助が得られず、接種費用は自己負担となっており、一般の方々への理解と啓発も不十分です。現在、産婦人科・小児科・内科の医師たちが協力して、HPVワクチンの周知と普及につとめています。料金や接種回数など、さらに詳しい情報が欲しい方は、かかりつけ医にたずねてみてください。



こちらも参考に！

子宮頸がん情報サイト
<http://allwomen.jp/>

健康ワンポイント

がんけんかすい 老人性眼瞼下垂

眼瞼下垂とは、何らかの理由で上まぶたがたるんで腫にかかり、眼が開きづらくなる病気です。眼瞼下垂の原因はさまざまですが、中でも加齢によっておこるものを「老人性眼瞼下垂」と呼びます。まぶたを持ち上げる筋肉の機能が弱くなったためにおこる、本来の眼瞼下垂と分別するために「偽性眼瞼下垂」とも呼ばれます。

以前放送されたNHK『ためしてガッテン』でも取り上げられていましたので、視聴者の方の記憶にも残っているのではないのでしょうか。

●原因・おもな症状

年齢を重ねると、人はみな老齢化による生理現象に悩まされます。老人性眼瞼下垂も高齢者の多くに該当する、エイジング（加齢）による一症候です。加齢による上まぶたの皮膚や筋組織のたるみがおもな原因です。

老人性眼瞼下垂になると、たるんだ上まぶたが瞳にかかると視界が狭くなり、結果として弱視やイライラ、不快感、首・肩の疲労感などの症状が伴います。

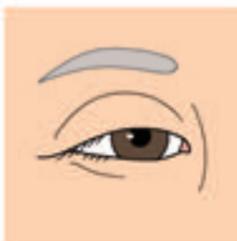
●治療法

手術によって、眼瞼下垂の状態を取り除くことが可能です。眼を覆っていたまぶたを取り除いてあげることで視界が広くなり、気分も明るくなるためウツ傾向も解消します。手術そのものはそれほど難しいものではなく、局所麻酔の日帰り手術で済む場合もあります。

●診療科

おもに眼科ですが、形成外科でも対応するところがあります。

鏡を見て、上まぶたが眼を覆うような状態であれば、一度、医療機関にご相談ください。



眼瞼下垂の状態

上まぶたが瞳にかかり、眼が開きづらくなる。



あしがき

川崎市医師会の「ほほえみがえし」(Voor13)を発行させていただきました。今回の特集は、昨年10月の市長選挙で当選し、三期目の市政のかし取りを行っている阿部孝夫市長と、昨年4月に本会の新会長となった高橋章会長との対談を企画致しました。本会が川崎市に果たしている役割の一端が分かっていただけだと思います。

その他のコーナーも、最近話題になってることを、できるだけ分かりやすく解説致しました。市民の皆様には、時間をかけてお読みいただければ幸いです。

おしえて、せんせい！ Q&A

Q 最近、ものを忘れることが多く心配なのですが

A だれでも歳をとると、多少はもの忘れの傾向がみられます。その多くは「生理的なもの忘れ（加齢によるもの忘れ）」で、病気によるもの忘れではありません。たとえば「買い物に行って何を買いに来たか忘れてしまい、それを思い出そうとする」といったもの忘れや、「ヒントがあれば忘れたことを思い出せる、普通の生活には支障がないなどの特徴がある場合は、生理的なもの忘れであり進行しません。

しかし、一部には進行し生活上支障をきたす「病的なもの忘れ」もあります。「病的なもの忘れ」とは、上記の例ですと「買い物に行ったこと自体、丸ごと記憶から落ちてしまう」などがあたります。「病的なもの忘れ」でも早期に見出し、対応をすれば治療可能なものがあります。

最近では「もの忘れ外来」を開設している病院もありますから、ご心配であれば「かかりつけの医師」に相談してみてください。

